

2024 年度岩木健康増進プロジェクト健診に ご参加いただいた皆様へ

下記の研究に用いるため、皆様の情報を利用させていただきますので、お知らせいたします。

研究課題名： 一般住民におけるアルツハイマー病疾患修飾薬の認知度の調査

研究の目的

現代の高度に高齢化した日本社会において認知症は大きな問題となっています。アルツハイマー病は最も多い認知症の原因ですが、2023 年 12 月 20 日に新たなアルツハイマー病治療薬（レカネマブ）が発売になりました。アルツハイマー病の脳病理変化に対して効果がある初めての治療薬であり病気の進行を遅らせることができる画期的な機序をもつ薬剤ではありますが、治療効果や副作用のリスク等を考慮した上で投与する価値があるかどうか、また、実際にどの程度のニーズがあるのかなどについてはまだ議論の余地があります。今回レカネマブの認知度、ご自身または親族がアルツハイマー病になった時にレカネマブによる治療を希望するかどうかを調査しました。本研究によって対象地域の一般市民におけるアルツハイマー病に対する新規治療薬のニーズを明らかにすることで、当地域における今後の認知症診療体制の構築の一助としたいと考えています。

研究実施期間： 実施許可日 ~ 2026 年 3 月 31 日

対象となる方： 2024 年の岩木健康増進プロジェクト健診に参加された方

利用させていただきたい試料・情報について

以下の情報を研究責任者である西嶋春生の責任の下、標記研究課題実施のために弘前大学内で利用します。

先行研究「岩木地区住民における健康調査およびこれに基づく疾患予兆法と予防法の開発（承認番号：2023-191-1）」において 2024 年に取得された以下のデータ

【調査項目】

- Personal ID
 - 個人記録票（受付番号、年齢、性別、身長、体重、BMI、血圧、臍位腹周囲径、ウエスト/ヒップ径、前腕・下腿周囲径、体力測定）
 - 健康調査票（健康状況、かぜ及び感染症、服薬状況、ロコモ 25、フレイル、睡眠、社会的状況、SF-36、CES-D、鼻症状、つまずき・転倒、食習慣、主観年齢、騒音、排尿・排便状況、幸福感、ストレス、アルツハイマー病について）
-

具体的には、参加した皆様の健康調査票のアンケート結果を集計します。アルツハイマー病に対する新薬（レカネマブ）に対する認知度を、年齢や性別、受診者自身が認知症を有しているかどうか、認知症患者が身近にいるかどうかとともに評価します。

本研究によって大規模一般住民健診におけるアルツハイマー病新薬に対する認知度、治療薬へのニーズが明らかとなります。当地域における今後の認知症診療体制構築の一助とするとともに、今後の市民に対する認知症についての啓発活動の参考とします。

なお、本研究で利用する情報は、先行研究「岩木地区住民における健康調査およびこれに基づく疾患予兆法と予防法の開発（承認番号：2023-191-1）」で収集し、加工（氏名、住所および生年月日と切り離し、照合のための符号・番号を付与）され、岩木データベースに登録された情報です。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。そのため、本研究により個人に還元する臨床的意義のある結果は得られないため、個別の結果については原則としてお答えできません。

研究への利用に同意いただけない場合には、「情報利用提供停止願い」をご提出ください。受領後、その方の試料・情報を対象から除外します。ただし、ご連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない方/その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

本件連絡先	弘前大学医学部附属病院 脳神経内科 講師・西島 春生 住所：〒036-8562 弘前市在府町 5 電話：0172-39-5142 Email：hnishiji@hirosaki-u.ac.jp
情報利用停止願送付先	弘前大学大学院医学研究科附属健康・医療データサイエンス 研究センター 医療データ解析学講座 教授 玉田 嘉紀 住所：〒036-8562 弘前市在府町 5 電話：0172-39-5037(代表) FAX：0172-39-5205